



## ライバルは、たった一人。自分だ。

受験生の皆さん。そして離れて見守る保護者の皆さん。

いよいよ、この日がやってきました。

もうすぐ試験が始まろうとしている今、あなたはどんな顔をしていますか。

ひょっとしたら鏡の中には、いつもと違う自分がいるかもしれません。

その「いつもと違う自分」こそが、今日のあなたの最大のライバルです。

ひとつ深呼吸して、それから笑って、そいつを吹き飛ばしてやりましょう。

あなたはこれから、抱いてきた夢のとびらを開けるのです。

怯むこともない。気負うこともない。

その瞬間にできることのすべてを、思う存分、答案用紙にぶつけてくればいい。

さあ、いつもの通り出かけましょう。夢をその手でつかむために。

これは、今から3年前に河合塾が新聞広告で掲載したもので、毎年この時期に、受験生へのエールとして紹介しています。1・2年生にとっても、いずれこの日を迎えることになります。

明日、いよいよ公立高校入試を迎えます。どんなに競争率が高くても、どんなに隣の人が気になっても、最後は自分自身との戦いです。すべてはこの日のためにがんばってきたはずです。

生徒会スローガン『Dreams Come True ～ここから今はじまる～』は、新しい夢の扉を開けようとしているあなたにピッタリの言葉です！しっかりと自分の手で夢をつかんでください。

- ◆ 俺のライバルは明日の俺だ。過去の俺とは戦わない！【松本人志】
- ◆ 人を信じよ。しかし、その百倍、自らを信じよ。【手塚治虫】
- ◆ そろそろ自分を信じていい頃だ。今の君はもう十分あの頃を越えているよ。【安西先生(スラムダンク)】
- ◆ あなたは迷っていても、ドアは開いている。羽をあげるから信じて飛べばいい。【アンジェラ・アキ】
- ◆ 今日の成果は、過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。【稲盛和夫】
- ◆ もしも限界があるとするとするならば、それは諦めた瞬間でしょう。【杉下右京(相棒)】

※Facebook『心に響く「魔法の言葉(名言)」集』から引用

## 3.11を忘れない ～今、私たちにできること～

「閣議了解」という文章が届きました。閣議とは、全閣僚が総理大臣官邸閣議室に集まって行われる会議のことであり、そこで決定・了解された内容です。そして、今回の文章は、「東日本大震災二周年追悼式の当日における弔意表明について」という内容であり、3月11日には、哀悼の意を表すため、次のとおり措置するものとするとして、2つのことが書かれています。

1つ目は、各府省においては、弔旗を掲揚するとともに、各公署、学校、会社その他一般においても同様の措置を取るよう協力方を要望することとあります。弔旗とは、喪章(黒いリボンなど)を付けて掲揚される旗であり、半旗を掲げる場合もあります。本校は運動場に半旗を掲げています。なお、半旗とは、弔意を表すために旗竿の最上位より下に掲げた旗のことであり、旗竿の半分の高さまで揚げることはありません。

2つ目は、国民各位に対して、追悼式中の一定時刻(午後2時46分)に黙とうを捧げるよう協力方を要望することとあります。みなさんも日本国民の一人です。しかし、今日はその時間が取れません。少し遅くなりますが、全校生徒がそろそろ卒業式予行のときに黙とうを捧げたいと思います。

東日本大震災から今日で2年を迎えます。この震災によって多くの尊い命が失われ、被災地では今もなお多くの方々が不自由な避難生活を余儀なくされています。しかし、その一方で被災地の方々の力強い営みと、各方面からの支援により、復興に向けた歩みも着実に進められています。今、私たちにできることは何かをもう一度考えてみましょう。

そして、今週金曜日は卒業式です。当たり前前に卒業式が行われる幸せを感じながら、保護者や来賓の方々に感動を与えることができる素晴らしい卒業式をみんなで創り上げましょう。